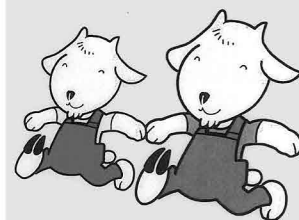




おかげさまで75年
今日もお元気で!



ヤギ薬局

兵庫県神戸市の『ヤギ薬局』。同薬局を運営する『神戸船舶薬品』の代表であり薬剤師である八木圭子さんは、痛みや悩みに共感して寄り添う「同治」の考えを大切に、お客様と関わっている。本日は、元 WBC 世界バンタム級チャンピオンの山中慎介氏が、「もっと知識を習得して、みなさんに伝えたい」と話す代表にお話を伺った。

共感と寄り添いを大切にした交流で 地域に根差す薬局として共に歩みたい

——早速ですが、八木代表の歩みから。

私が小さいころに両親が『ヤギ薬局』を創業し、休日にはよく連れてこられたものでした。両親の後は兄が継ぎ、東京へ進出してエアロビクスもはじめ、また近年は浸透しつつある薬の配達事業にも先駆けて参入するなど、精力的に事業を展開しましたが、その兄が他界しまして。後を私が継いだのです。私自身は大学は英文科に進学したのですが面白みを見出せず、薬剤師を志すように。今がとても楽しいので、薬剤師にシフトして良かったと心から思っています。

——薬剤師として働く今を心から楽しんでおられて、天職と出会われたのだと感じます。どういった点がやり甲斐ですか。

お客様との交流が楽しくて、ただ薬を提供するだけではなく、もっとみなさんの健康に寄り添うお手伝いができないか考え、勉強しています。治療方法には同治と対治があるのをご存知ですか。例えば、熱が出た時に解熱剤で下げたり、化

膿したら抗生物質を投与するのは西洋医学で対治にあたります。同治は、熱が出たら温かいものを食べて汗を出すことで熱を下げます。また、重病を患って治療の手立てがないという時にはそばに寄り添って話を聞き、苦しみを共有して一緒に涙を流すのが同治です。私は、この同治というものを知って、薬剤師として寄り添える人になりたいと考えるようになりました。例えば、自律神経が乱れやすい方には自律神経を整える薬だけでなく、呼吸法や体操を案内します。

——同治とは、とても素敵な考え方ですね。必要とされている方は多いと思います。

阪神・淡路大震災の後、精神科の先生が増え、当薬局を利用される方の8割が精神科に通っておられます。多くの方が長年にわたって通われているので信頼関係を築けていて、こちらの提案を受け入れて実践してくださるんですね。みなさんの心に寄り添えるよう、私もまだまだ勉強を続けたいです。お客様が少ない時には、一緒に交感神経を落ち着かせる効果が期待できる体操をするんですよ。とにかく、慌てず焦らず、まずはゆっくり呼吸をするだけでも自律神経は整います。

——そうした知識も教えてもらえる薬局だから親しまれるのでしょうか。

「笑顔とありがとう」を忘れず、みなさんのお役に立ち、喜んでいただける拠り所でありたいという想いは父のころから大切にしています。スタッフにも恵まれ、長い方は50年——同じ志を持つ方と共に働けることが本当にありがたいです。



——今後については、いかがですか。

もっといろんな知識を得て、みなさんに還元していきたいと思います。病気になっても病人にならない生き方を綴った本をはじめ、著名な方や病院の先生方の言葉や知識をお伝えすると、みなさん関心を寄せてくださるんですね。笑顔で帰っていただけるようできることを続けます。

(2025年4月取材)



「八木代表は、ラジオ体操に腕振り体操、ジャンプ100回をして、食事也多品目を取るようにしているそうです。そうしてご自身がまず心身共に健康でいられるよう努力されているからこそ、『ヤギ薬局』に来られる方々に寄り添えるのですね」

